

博多と福岡を結ぶ
国体道路の空間利活用検討会

提言書
(案)

令和3年8月

目次

はじめに

1. 本検討会について..... 1
2. 提言にあたって..... 2

【提言 1】 国体道路の空間再編のあり方

- 道路空間再編の方向性について..... 3

【提言 2】 春吉橋賑わい空間のあり方

- 賑わい空間の方向性について..... 4

- 取組みにあたって重視すべき視点..... 5

- <春吉橋周辺の空間イメージ>..... 6

参考

- 委員名簿..... 7
- 検討会経緯..... 8

はじめに

1. 本検討会について

福岡市の都心部の中枢である「博多」と「天神」が共に発展するためには、二つの拠点を結ぶ回遊軸である国体道路の魅力を上向きさせ「回遊性」を高めることが重要となります。

しかしながら、その回遊性を支える国体道路は、高度に集積した九州最大の繁華街や歴史的まちなみがあり、多彩な市民の暮らしがある一方で、歩行者・自転車の快適性や安全性に欠け、更に老朽化したインフラや建物、道路の著しい交通混雑、公共交通の定時性低下などの多様な課題があります。



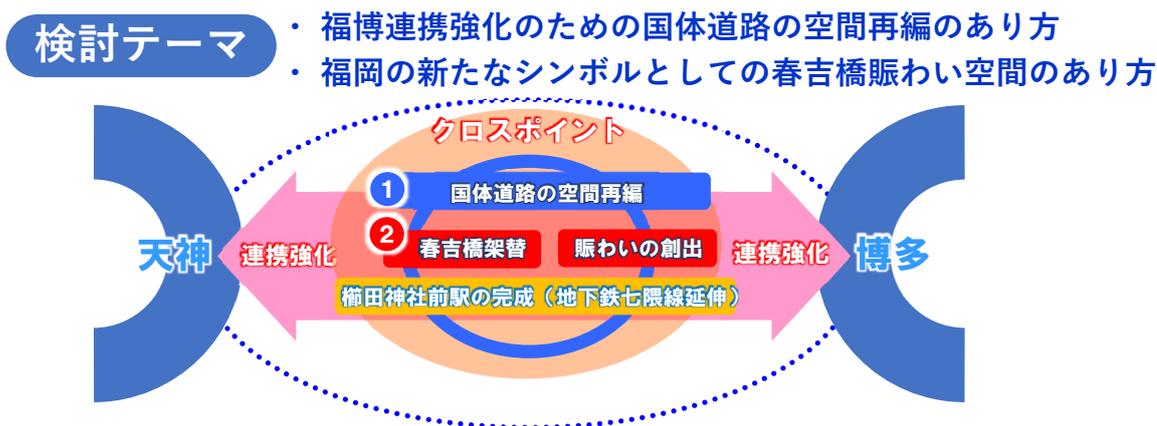
このような課題を踏まえ、関係機関が連携して福博連携強化に向けた空間づくりを推進するために、有識者、地域住民、まちづくり団体、経済団体、道路利用者からなる「博多と福岡を結ぶ国体道路の空間利活用検討会」を設置し、「博多」と「天神」の二つの拠点を結ぶ回遊軸となる『国体道路の空間』とクロスポイントとなる『春吉橋賑わい空間』のあり方について検討しました。



はじめに

2. 提言にあたって

本検討会は、「国体道路の空間再編のあり方」と「春吉橋賑わい空間のあり方」の2つの検討テーマについて、交通実態調査や市民への意向調査、地域等へのヒアリング、民間事業者へのサウンディング調査などを実施し、それらの結果を基に計4回の検討会を開催し、各テーマについて議論を行いました。



テーマ毎に実施した調査検討内容

	テーマ① 国体道路の空間再編のあり方	テーマ② 春吉橋賑わい空間のあり方
調査内容 検討内容	<ul style="list-style-type: none">・ 交通量調査（歩行者、自転車）・ 自動車利用者WEB調査・ 意向調査（バス事業者、タクシー事業者）・ 対策案のシミュレーション・ 対策案に対するアンケート調査・ 歩行者、周辺店舗へのヒアリング	<ul style="list-style-type: none">・ 試行イベントの実施+ヒアリング調査（来場者、主催者、出展者）・ 市民へのWEBアンケート・ ヒアリング調査（地域、周辺店舗、バス事業者）・ コロナ禍を踏まえたヒアリング調査（地域）・ 民間事業者へのサウンディング調査

今回、各テーマの調査検討結果に対し、検討会の意見および地域や民間事業者等のニーズも取り入れ、“提言”として取りまとめましたので、管理者である福岡国道事務所（国体道路）および福岡市（春吉橋賑わい空間）におかれましては、本提言をしっかりと踏まえていただき、実現に向けた事業の推進を期待しております。

今後、国体道路および春吉橋賑わい空間が、周辺地域はもちろん、福岡の将来にとっても魅力的な空間となるよう、実現に向けて地域としても最大限協力してまいります。

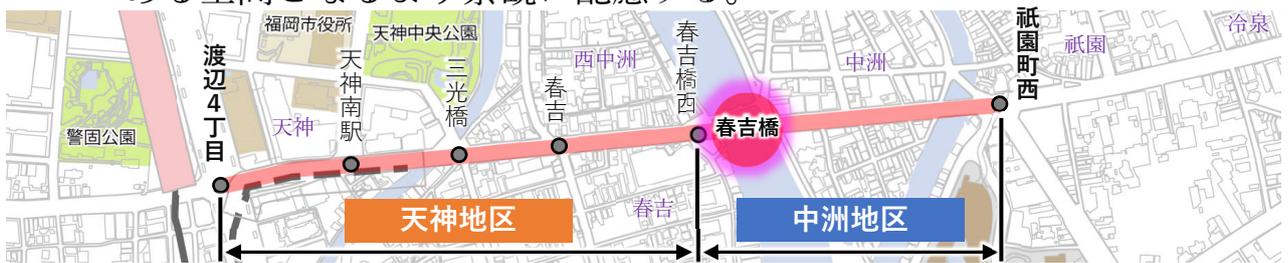
【提言 1】 国体道路の空間再編のあり方

道路空間再編の方向性について

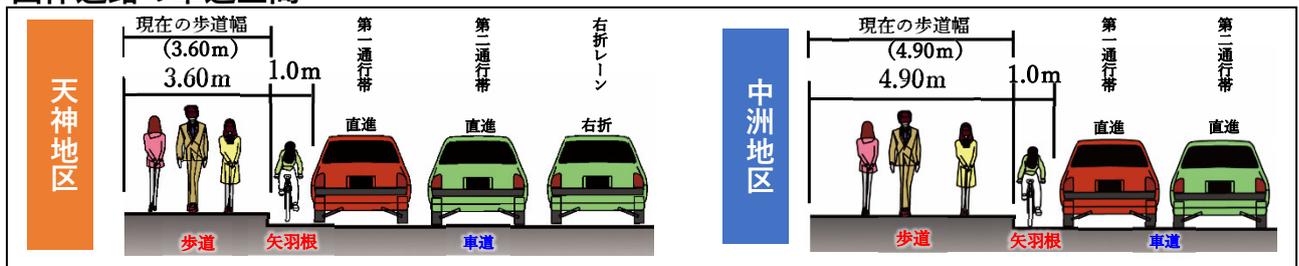
歩行者通行量の増大や、回遊性向上によるまちの活力の維持強化に向け、安全で快適な歩行者・自転車空間の形成を図るため、道路空間再編について提言いたします。

(1) 短期対策として

- ・ 祇園町西交差点から渡辺通り4丁目交差点までの間において、より快適な歩行空間を確保する。
- ・ 歩行者と自転車の分離を促すための矢羽根を延伸する。
- ・ 植栽帯を見直すなど、十分な歩行空間を確保する。（中洲地区）
- ・ 春吉橋周辺の交通課題に対応するため、バス乗場等の交通結節機能の強化を図る。
- ・ 春吉橋については、歩道舗装・道路付属物はダークグレーを基調、高欄・親柱は鋳鉄製とするなど、周辺空間と調和した落ち着きと品格のある空間となるよう景観に配慮する。



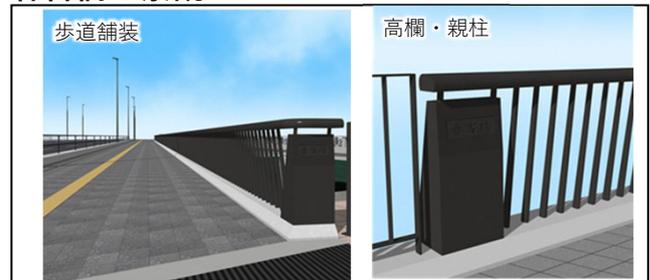
国体道路の車道空間



春吉橋の結節機能の強化



春吉橋の景観



(2) 長期対策として

車道幅員拡幅や減車線化などによる諸問題への対応や地下鉄七隈線櫛田神社前駅の開業を契機とした回遊性の向上などを議論するため、別途協議会を立ち上げ、「博多」～「天神」間（国体道路～はかた駅前通り）における人を中心とした道路空間の利活用を検討する。

【提言 2】 春吉橋賑わい空間のあり方

春吉橋賑わい空間は、「博多」と「天神」の中間に位置する貴重なオープンスペースとして高いポテンシャルを有しており、その効果を最大限に引き出すことが重要です。平成25年から27年にかけて開催された「春吉橋を核とした空間利活用に関する技術研究会」での検討内容に加え、本検討会で実施した地域、周辺店舗、イベント事業者などへのヒアリング調査および民間事業者へのサウンディング調査の結果を踏まえて、これからの春吉橋賑わい空間のあり方について、「方向性」および「重視すべき視点」を提言いたします。

賑わい空間の方向性について

5つのテーマ	賑わい空間の方向性
結びつく (マグネット)	<p>昼：街歩きを誘発する磁場として、人々が集い、憩い、交わる空間</p> <p>夜：人々が夜景を楽しみ、集い、憩い、交わる空間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街なかで憩い、安らげる休憩機能（ベンチ等） ・夜景を楽しみながら飲食のできる空間 ・国体道路、清流公園や周辺地区への人の流れを誘発する溜まり空間
目で楽しむ (フォトジェニック)	<p>昼：水辺景観と福岡の景色を楽しむ空間</p> <p>夜：景観を楽しむとともに、橋そのものが中洲の代表景を引き立てる空間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・那珂川の水面と川沿いの自然や風景を眺められる視点場としての機能 ・中洲のネオン風景を眺められる視点場としての機能 ・春吉橋及び賑わい空間そのものが景観を引き立てるようなデザインやライトアップ等 ・シンボリックな外観 ・中洲の代表景を引き立てつつ、春吉橋自体が那珂川や清流公園と一体的に福岡の顔となるような景色
心が躍る (エンターテイメント)	<p>昼・夜：賑わいを生み出す核となる、多様なイベントが開催される空間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中洲や屋台といった地域性を活かしたイベントの開催 ・夜は来訪者のナイトライフを充実 ・賑わい、交流を生み出す参加型イベントも実施できる広場 ・朝、昼、夜のシーンに応じた日常的賑わい空間としての活性化
情に溢れる (ソウフル)	<p>昼・夜：人間くささや界隈性にあふれる中洲や春吉の街への入り口として機能する空間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老若男女が春吉橋に来たくなる、春吉橋から出発したくなるような玄関口として回遊を誘発 ・バス乗降所やシェアサイクル等の交通結節機能 ・来訪者の回遊を支援する観光案内機能
賑わい溢れる (バザール)	<p>バザール的な賑わいが年中たえない空間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々が様々な特産品を提供、新たなビジネスをアピールするなど、積極的な賑わいが年中絶えないバザール的な空間としての機能 ・移動コンテンツ等を基調とし、テーマやコンテンツが時間や季節に応じて入れ替わり、絶えず話題性のある物販・イベントで賑わう空間

【提言 2】 春吉橋賑わい空間のあり方

取組みにあたって重視すべき視点

運用面での持続性・柔軟性

5つのテーマを踏まえつつ、コロナ禍による社会環境の変化を契機とした、ポストコロナでの「賑わい空間」のあり方として、持続性・柔軟性のある空間

周辺との一体性・連続性

高いポテンシャルを活かして賑わいを創出しつつ、その効果を地域に波及させるため、国体道路・清流公園との「一体性・連続性」が感じられるような、エリア全体の回遊を促す空間

地域との共存・共栄

賑わい創出・回遊促進という観点から、地域を支え、また支えられる場所であり続けるために、周辺地域の飲食施設等と共存・共栄し、活力ある都市の魅力を、ともに高め合う空間

民間ノウハウの活用

魅力的で人々を惹きつける空間とするため、官民それぞれの強みを活かし、連携して取り組むことが重要

春吉橋周辺の空間イメージ

都心部におけるオープンスペースを最大限活用することで、ポストコロナを見据えた公共空間の有効活用を図る。また、可変性のあるコンテンツの導入による運用面での柔軟性や地域が求める賑わい・回遊促進にも寄与する立地的なポテンシャルを活かした「賑わい空間」の創出を目指す。



▲昼間の空間イメージ



▲夜間の空間イメージ

※上記はイメージであり、確定したものではありません。

委員名簿

【委員】

委員長	坂口光一	九州大学名誉教授
委員	辰巳浩	福岡大学教授
	原口唯	九州大学客員准教授
	縄田真澄	福岡経済同友会事務局長
	立花英樹	福岡商工会議所常務理事（第1回～第2回）
	中芝督人	福岡商工会議所理事（第3回～第4回）
	倉富純男	一般社団法人福岡県バス協会会長（第1回～第3回）
	林田浩一	一般社団法人福岡県バス協会会長（第4回）
	安川哲史	一般社団法人福岡市タクシー協会会長
	檜崎慶司	We Love 天神協議会会長
	松下琢磨	博多まちづくり推進協議会会長
	南原茂	中洲町連合会会長
	竹ヶ原政徳	冷泉自治協議会会長
	楠下広師	春吉校区自治協議会会長（第1回）
	平間和俊	春吉校区自治協議会会長（第2回～第4回）
	三原哲彦	大名自治協議会会長（第1回）
	内林潤一	大名自治協議会会長（第2回～第4回）
	遠藤市郎	警固校区自治協議会会長（第1回）
	野田孝恵	警固校区自治協議会会長（第2回～第4回）

【オブザーバー】

久保田靖彦	九州運輸局福岡運輸支局長
藤木信司	福岡県警察本部交通規制課長
大森浩明	福岡県博多警察署長
棟杉邦哉	福岡県中央警察署長
富田信雄	福岡県土整備事務所長
山本恭久	福岡市交通局理事
駒井正樹	九州地方整備局道路計画第一課長
佐伯康夫	九州地方整備局道路計画第二課長

【事務局】

国土交通省 九州地方整備局 福岡国道事務所
福岡市

検討会経緯

検討会	日付	検討内容	
第1回 検討会	平成31年3月25日	国体道路	国体道路の道路空間の現状と課題
		春吉橋	事例照会、ニーズ調査概要 試行イベント告知
第2回 検討会	令和2年6月24日	国体道路	国体道路の今後の方向性と対策案の効果検証
		春吉橋	試行イベントの結果報告 ニーズ調査を踏まえた賑わい空間の方向性
第3回 検討会	令和3年6月1～11日 (個別持ち回り)	国体道路	地元、まちづくり団体、道路利用者、民間事業者等の意向を踏まえた短期対策の比較評価及び景観検討
		春吉橋	コロナ禍を踏まえた意見把握 サウンディング調査結果 調査結果を踏まえた賑わい空間の方向性
第4回 検討会	令和3年7月27日	国体道路	検討会を踏まえた提言の取りまとめ
		春吉橋	